

新基地建設反対名護共同センターニュース

地続きのハンセンで新たに感染者 36 人



9時15分ごろ強烈な雷雨が



キャンプ・シユワブも閉鎖し工事を中止せよ！

ハンセンで新たに36人など県内米軍基地内でのコロナ感染が急速に拡大するにもかかわらず、辺野古新基地建設工事が強行されています。ゲート前では16日、各地島ぐるみから約70人が座り込み、一時、強烈な雷雨の中、元気に抗議活動を展開しました。

**人の命よりも大事な安全保障はない
不要不急な新基地工事は中止せよ！**

司会のへり基地反対協・仲本興真事務局長は「隣のキャンプ・ハンセンでクラスターが発生した。地続きのシユワブでも感染者が出てくる可能性が高い。人の命よりも大事な安全保障はない。全基地を封鎖し、不要不急な新基地工事を直ちに止めるべきだ」と訴えました。雨にも負けず参加者は抗議の声を上げました。

悔しくて悲しい。でも、私たちは負けない。

この日、那覇市から座り込みに参加したある女性が、作業車が基地内に入った時、次の決意を口にしていました。「今朝6時半に那覇を出発してきました。このミキサー車で運ばれた生コンが美ら海をつぶしていると思うと悔しくて、悲しい。この気持ちは何回来ても慣れたり、薄れることはありません。勝つまであきらめません。だって完成する見込みもない工事で、安倍政権の面子と利権のために強行しているだけです。私たちは負けるわけにはいきません」。

「高校生平和集会 in 沖縄 2018」のDVD販売

DVD「沖縄のこころを学ぼう～高校生平和集会 in 沖縄 2018」(44分)が完成しました。沖縄戦と基地問題について学び、交流する高校生たちの姿を追った記録です。沖縄戦や基地問題、高校生の学び、教育のことなど話題にすることができるところ。地域での集会や修学旅行の事前学習に最適です。

頒価5000円のところ、割引価格で4000円
連絡先/高校生平和ゼミナール全国連絡センター
(沖村)090-4819-2932

ニュースを読み、拡散することが私たちのできること

まもなく300号迎える
本ニュースへのメッセージ
その③

●共同センターニュース300号
おめでとうございます。

現地のフレッシュなニュースをいつも参考にさせていただいています。私共の会も95年に設立して25年になります。毎年「沖縄を味わう会」をおこない、隔年に沖縄平和ツアーを実施し、沖縄祈念の日に隔月で街頭宣伝をして、沖縄の現状を市民に伝えていきます。昨年、「辺野古の海を土砂でうめるな」の署名を4370筆あつめて、市議会に陳情書を出しました。ごくわずかの票差で不採択になりましたが、懲りずにまた出します。来年の平和ツアーでお伺いしたいと計画です。その時に会えるのを楽しみに！
(東京) 沖縄県民と連帯する府中の会
事務局 桃井勝

●共同センターニュース300号おめでとうございます。

翁長知事誕生の熱気の翌年にセンターが開設し、ニュースが発行されました。5年余の経過がありますが、沖縄の状況は改善されていないと感じます。その中で沖縄の皆さんのあきらめない闘いに頭が下がります。

その闘いが権力を押しとどめていられると思います。力になり切れないジレンマがありますが、ニュースを読み、まわりに拡散して沖縄の事を知らせるのが私たちの出来る事かと思っています。記事の中に民商の事が出てくるので励まされています。ありがとうございます。お体を大切に

(千葉) 佐倉革新懇・事務局長
宮本和夫
(元葛飾民商事務局長)